



8月園だより

段原みみょう保育園

感じる心が学びの原動力

比治山から聞こえてくるにぎやかな蝉の声。そして、空を見上げると、澄んだ青空には、白くてもくもくとした“わた雲”や“入道雲”が浮かんでいます。いよいよ夏本番。子どもたちとこの季節ならではの風景を全身で感じながら過ごしていきたいと思います。

さて、7月27日(土)に広島交響楽団に所属されておられる本園保護者の方にお声がけいただき行ったファミリーコンサートではたくさんの親子にご参加いただきありがとうございました。ファゴット、チェロ、ピアノと3つの楽器を用いての演奏でしたが、深みのある音色、身体に響いてくる音の感覚と、生演奏ならではの迫力があり、感動的な時間でした。開催前に保護者の方から「小さなお子さんもぜひ参加ください」「子どもたちが感じるままに楽しんでもらったらいいですよ」と声をかけていただき、赤ちゃんから参加させていただきましたが、演奏が始まると、赤ちゃんたちも目をまん丸にして、前のめりになるほど音に惹きつけられていました。また、1歳児のS君は立ち上がり両手を上下に振り身体を使って表現していたり、4歳児のMちゃんは、真剣な表情で演奏者を見つめ、時に手拍子をして楽しんでいたりと、一人ひとりのお子さんが、その子なりの表現方法で演奏を感じている姿が印象的でした。“演奏会”と聞くと「最後まで聴けるかな?」「泣いたりしないかな?」など大人の思い込みからハードルをあげてしまいがちですが、本物の音色を心と身体で感じ表現している子どもたちの姿に、子どもの持っている力の凄さを感じるとともに、赤ちゃんだから難しいではなく、乳幼児期こそ豊かな経験や体験が心と身体を育てていくと改めて考えさせられた瞬間でした。だからこそ日々の保育の中でも、子どもたちが心動かし、「見る」「聴く」「触れる」「嗅ぐ」「味わう」「話す」と五感を震わす体験、経験を大切にしていきたいと思います。そして、こうした経験の中で、「楽しい」「面白い」「素敵だな」など子どもたちは様々な感情が、「知りたい」「やってみたい」という好奇心や探求心を育み、「なんでだろう」「どうなってるの」という思考力(自分で考える力)へと繋がっていくのです。これからも子どもたち一人ひとりの表現を見逃さず、共に楽しみ、見守って参りたいと思います。

園長

みんなの笑顔がいっぱい!!



身体をつかって表現したり

